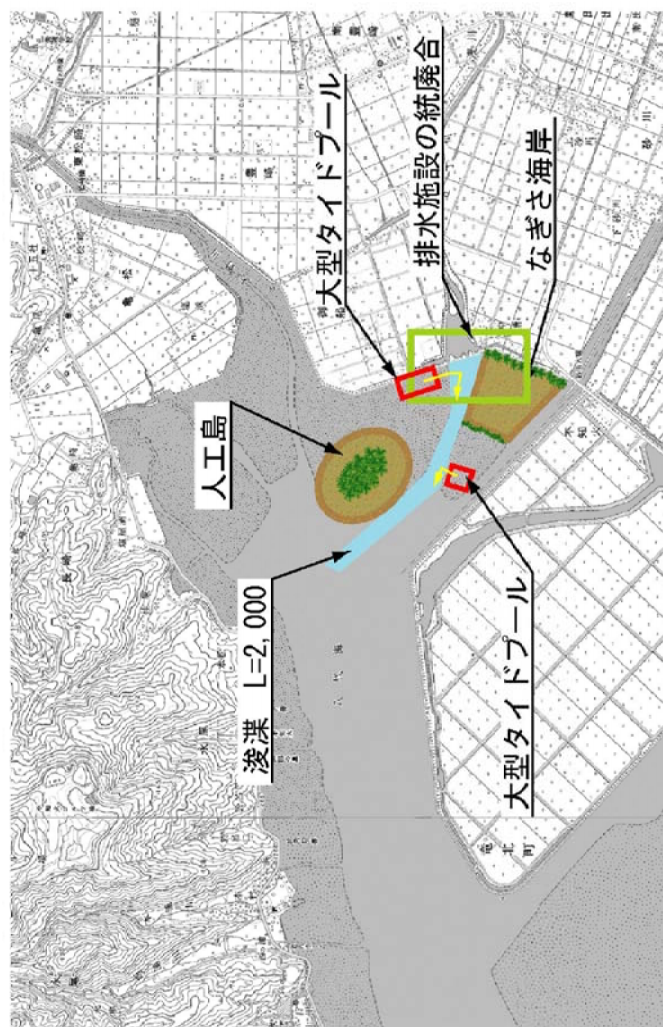


8.3 農地排水対策および浚渫土砂有効活用対策の合併対策案の検討結果

前述において、干潟排水対策と浚渫土砂の有効利用案についてそれぞれ検討を行ったが、これらの対策案を複合的に検討する場合もあり、その中で当地区（豊川地区）において考えられる参考案（合併案1、2）を示す。効率よく滞の管理をするために案2のように滞を1本化する必要があり、案3を目標に内水域の排水計画を再構築する。また、五丁川の流域が小さく滞を維持するためのフラッシュ水が不足している対策として、実績のある案4（タイドプール）を設置する。さらに、浚渫により発生した潟土を案A、案Bのように利活用することで環境改善を図ることを目標とする。

これらの対策案を参考に、湾奥部全体的な参考案を合併案1、2に示す。

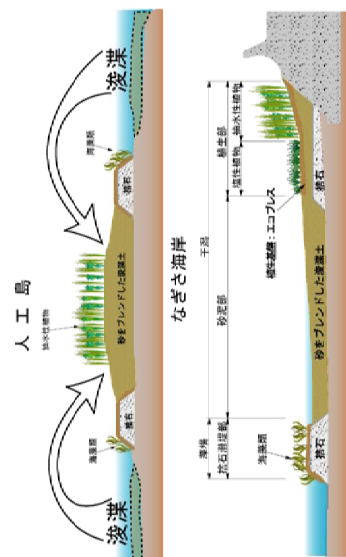
参考(合并案1)



経済性	【	】内は年効果額
浚渫	3億×2km=6億	【 0.74 億 】
タイドプール	5億/ヶ所×2=10億	【 0.74 億 】
3号樋門の4号樋門への統合	10億	【 0.58 億 】
ポンプ更新	10億×3箇所=30億	【 2.21 億 】
(人工島・なぎさ海岸の整備は含まない)		
	約56億	【 4.27 億 】

この案については、関係省庁、関係機関の共通認識や相互連携を図りつつ取り組む体制を構築し、以下に示す課題についての調査・検討が必要である。

- ①潮流および土砂堆積メカニズムの解明
②干潟の堆積シミュレーション解析(将来予測)
③法規制等への対応
④環境影響評価の検討 等

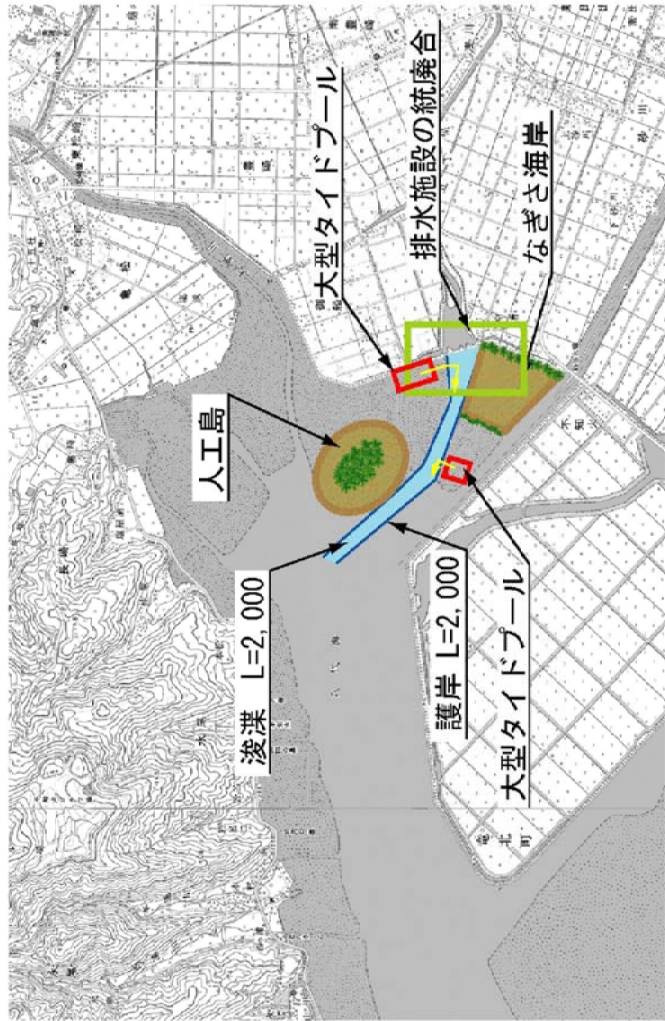


導水路



タイドプール全景

参 考（合併案2）



案3・案6の1本化された案に案4のフラッシング施設を設置し、浚渫土は案A・案Bの双方を採用した合併案である。

経済性	【 】内は年効果額	
浚渫 + 護岸	7億 × 2km = 14億	【 1.03 億 】
タイドプール	5億/ヶ所 × 2 = 10億	【 0.74 億 】
3号樋門の4号樋門への統合	10億	【 0.58 億 】
ポンプ更新	10億 × 3箇所 = 30億	【 2.21 億 】
(人工島・なぎさ海岸の整備は含まない)		
	約64億	【 4.56 億 】

この案については、関係省庁、関係機関の共通認識や相互で連携を図りつつ取り組む体制を構築し、以下に示す課題についての調査・検討が必要である。

- ①潮流および土砂堆積メカニズムの解明
- ②干潟の堆積シミュレーション解析(将来予測)
- ③法規制等への対応
- ④環境影響評価の検討 等

